

生徒のみなさんへ

新型コロナウイルス感染症に対応するために

保健担当

新型コロナウイルスから自分や身の回りの人を守るために、学校の活動においては特に注意が必要です。そこで、皆さんには次のような点について注意をして生活してほしいです。

1、感染症対策をしましょう。

- 毎朝・晩の検温及び風邪症状をチェックシートに記入
朝学活で学校のシートに記入→回収します。
検温忘れは廊下に出て副担任の先生にお願いして検温してください。
- マスクを着用しましょう。(予備のマスクを必ずバッグに入れておきましょう。)
- 登校してきたとき、トイレに行ったとき、給食前は手洗いやうがいを必ずしましょう。
- 咳エチケットを徹底しましょう。
- 抵抗力を高めるための睡眠・運動・体調管理について

2、集団感染のリスクへの対応を考えましょう。

教室などでの環境に注意してください。

- 毎休み時間ごとの換気の徹底をします。(放送があったら、窓側の人は窓を開けましょう。)
- 密集を避けましょう。(ソーシャル・ディスタンス) 2m
- 間近で会話や発声する密接を避けましょう。 → 階段や昇降口、流しの前など
- 安全が確認されるまで給食再開後も前向きでとります。

3、出席停止の扱いについて

次のような場合出席停止になります。(欠席日数には数えません)

コロナウイルスに感染した生徒、医者からの許可が出るまで。(新型コロナウイルス感染症)
濃厚接触者に特定された生徒は接触した日から起算して2週間(感染の予防のため)

→ 保護者にインフルエンザと同様の届け出用紙に記入してもらってください。

基礎疾患等のある生徒で登校すべきでないと判断された生徒も同じです。

4、正しい情報を知って、正しく恐れましょう

うわさや、デマに惑わされない生活を送りましょう。

- 公的機関などがホームページ等で提供する正確な情報を手に入れて、冷静な行動をとること。
- SNS で氾濫しているデマや誤った情報に惑わされないよう注意すること
- 情報が多すぎると必要以上に不安や心配な気持ちになるので、新型コロナウイルス感染症に関する情報やニュースを読み続けられないこと
- 心配なことがあったら、一人で抱え込まずに、周囲の人に相談すること

5、差別や偏見について考え、適切な行動がとれるようにしましょう

まず、差別的な言動に同調しないこと

- 見えないウイルスへの不安から、感染者・濃厚接触者・医療従事者・社会機能の維持にあたる方々等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別は許されないことです。